事業所名　メリーほっと　児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　10 月　24 日

法人（事業所）理念		日常生活における基本動作の習得、並びに集団生活に適応することができるよう当該児の心身の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。		
支援方針		個別支援計画に基づき、日常生活における基本的動作の指導や知識技能の付加、集団生活への適応などを遊びや生活を通して必要な支援を行う		
営業時間		10 時　00 分から　16 時　00 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	① 安定感のある生活リズムを身に付け、情緒の安定と健康的な身体を作る。 ② 衣類の着脱、食事、排泄、身の回りの整理など生活に必要な動きが自分でやろうとする、自分でできるようになる。		
	運動・感覚	① 大人や友達と一緒に歌ったり、手遊びをしたりしてリズム遊びを楽しみ、リズム感を養う。 ② 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しみながらイメージする力を培う。 ③ 様々な粗大運動を通して、身体機能（巧緻性や協調性、体幹等）や体力向上を培う。 ④ 椅子に座る習慣を獲得し、正しい座り方や座っていられる時間を伸ばす。		
	認知・行動	① 生活を通して善悪や順番などのさまざまな概念を習得し、場面でに合わせた行動ができる。 ② 危険な場所、危険な遊び方を認識し、安全に気を付けた行動を身に付ける。 ③ 絵カードを提示し、場面に応じた認知の向上を促す。		
	言語 コミュニケーション	① 大人や友達の言葉や遊びに興味を持ち、自分の気持ちを言葉や身振りで表現しようとする。 ② 言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションで日常のあいさつができる。		
	人間関係 社会性	① 身近な大人や友達と関わりを持つ中で興味関心を持ち、一緒に遊びを楽しむ。 ② 大人や友達との安定した生活や関係を通し、共に感情を共有し合い、心を育む。 ③ 集団生活を通して共通の目的を見いだし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちや友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。		
家族支援		・定期的に懇親会や保護者参加型のイベントを開催し、保護者同士の交流の機会を提供する。 ・保護者面談を通し、日頃の子どもの生活する姿（仕草や行動等）を具体的に説明し、その場面での支援方法を助言すると共にご自宅で行える支援方法を助言す る。	移行支援	・具体的な移行又は将来的な移行を見据えて支援目標や支援内容を設定し本人への発達支援を行う。 ・進路や移行先の選択についてご家族への相談援助や移行に向けての様々な準備の支援を行う。
地域支援・地域連携		・担当者会議を定期的に開催し、情報収拾・役割分担について協議する。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面で子どもとの関わり方の提案や 関わり方のポイントについて助言を行う。	職員の質の向上	市主催の研修の参加、またその他の外部研修に積極的に参加し、事業所全体の保育や療育の質を高めると共に個の職員のスキルアップを図る。
主な行事等		【5月】国分川鯉のぼりﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙを見に行こう　【7月】プール遊び（8月末まで）【8月】夏祭り　【9月】芋掘り　【10月】ﾊﾛｳｨﾝｲﾍﾞﾝﾄ 【12月】クリスマス会　【2月】節分　【3月】卒園遠足 【食育（ｸｯｷﾝｸﾞ）】年4回実施　【避難訓練】年6回実施　【誕生日会】誕生日月のお子様がいる月に限る　【保護者参加型】懇親会、親子ふれあい遊び（年2回ずつ）（夏祭り含む）		